

「台湾有事」への適用

安倍政権による過激な安保法制
 戦争法の強行成立から6年余りが経過しました。「台湾有事」をめぐり、その危険性は新たな段階に入っています。日本が安保法制に基づいて米軍に加担すれば、国士が戦場になり、多くの国民が命を奪われる危険があります。安保法制を廃止し、外交による平和の枠組みの構築こそ、日本が取るべき最も現実的な外交・安全保障政策です。

安保法制は、①憲法違反の集団的自衛権行使容認(存立危機事態)②戦地での米軍などへの後方支援(重要影響事態)③共同訓練中などの米軍防護(武器等防護)などを柱としており、「平時」から「有事」にいたるまで、あらゆる段階で米軍の海外での戦争への参戦を可能にするものです。いずれも、海外での武力行使を禁じた憲法9条改定ぬきには不可能であり、

野党各派は「立憲主義破壊」など主張。安保法制の廃止は、野党共闘の「二丁目一番地」です。中国による台湾への侵襲や武力による干渉と、米軍による武力介入のいわゆる「台湾有事」をめぐって、安保法制発動の危険が高まっています。具体的には、「重要影響事態」あるいは米軍とともに武力行使を行う「存立危機事態」に認定し、対処す

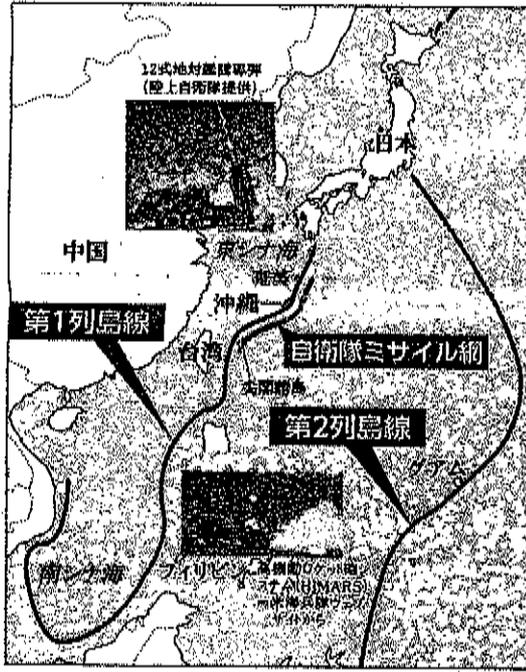
るといふもの。安倍晋三元首相が「台湾有事は日本有事、存立危機事態」などと繰り返し、維新も国会で同様の見解を示し、これをあおっています。(昨年12月9日、衆院本会議で鳩山伸幸共同代表) 岸田文雄首相も「(台湾)有事が起きた場合には、わが国としては、国民の命・暮らしを守るために、平和安全法制の規定に従って対応していく」(昨年9月18日、日本記者クラブでの自民党総裁選討論会)と述べています。

しかし、いったん「台湾有事」に参戦すれば、単なる後方支援では済まされなかりません。昨年3月9日の上院軍事委員会で、米インド太平洋軍のデビッドソン司令官(当時)は、台湾有事で「増援部隊が第1列島線(地図)まで展開し、第2列島線内(同)で作戦を実行するまで、米西海

自衛隊が最前線で戦闘

岸から3週間、アラスカから17日かかる」として、こう断言。日本は水陸両用能力を持っている。彼らは戦闘を求めているのです。当然、「戦死者」発生のリスクは避けられません。

いついかなる時でも来てくる

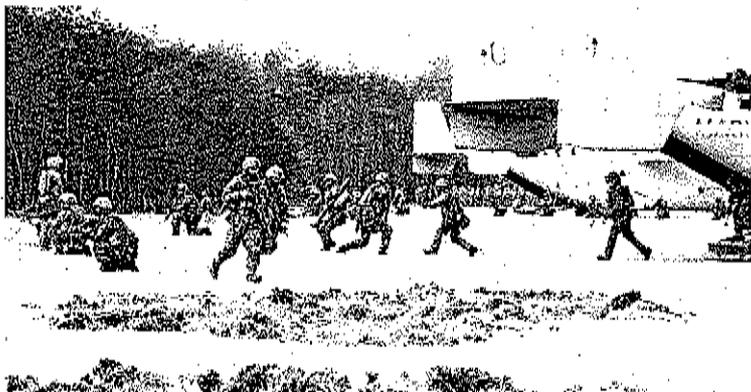


安保法制の危険

「対中国」適用 日本が攻撃目標に

進む具体化 沖縄を犠牲

米軍、訓練は具体化が進行しています。今年一月7日の日米共同演習「ブルー・ドラゴン」(共同演習)は、沖縄を舞台に、米軍と自衛隊が共同で、米軍が「共同演習」を主導し、自衛隊が「共同演習」を支援する形で実施されています。この演習は、米軍と自衛隊が共同で、米軍が「共同演習」を主導し、自衛隊が「共同演習」を支援する形で実施されています。



米海兵隊との共同訓練「レスリュート・ドラゴン21」に参加する陸上自衛隊。2021年12月9日、宮城県の大崎町で実施された。(米国防総省DVIDSから)

米軍は、今年、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。また、米軍は、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。

「戦時」突入 南シナ海も

米軍は、今年、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。また、米軍は、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。

米軍は、今年、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。また、米軍は、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。



海上自衛隊の護衛艦「かが」(むらさめ)、潜水艦、P1哨戒機と、米海軍イージス艦ミリウス、P8と南シナ海で共同訓練を実施。海上自衛隊の潜水艦とP1が米海軍と南シナ海で共同訓練を行うのは初めて=2021年11月18日(海上自衛隊提供)

米軍は、今年、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。また、米軍は、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。

米軍は、今年、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。また、米軍は、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。

米軍は、今年、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。また、米軍は、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。

米軍は、今年、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。また、米軍は、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。

外交の努力 最も現実的

米中の衝突は金銭が敗者となる。米軍は、今年、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。また、米軍は、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。

米軍は、今年、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。また、米軍は、沖縄県内に、米軍の作戦拠点建設、F35Bステルス戦闘機や高機動ロケット砲システム(HI-MARS)を配備し、攻撃性を高める計画です。

Table with 5 columns: Year (17, 18, 19, 20, 21), Helicopter (1, 6, 5, 4, 14), Aircraft (10, 9, 21, 7), Ship (), Total (1, 16, 14, 25, 22)